



# ひぐらしの里と再開発 ～緑と水を基本に豊かな潤いのある街づくり～



## ○三河島周辺地域

### ・地域の特性

生活拠点と身近な商店が広がりコリアンタウンの賑わいを併せ持ち駅前開発が共存する。

### ・景観(風景・資産)の現状

- ①JR三河島駅前の北地区は、老朽化した旧真土小学校、新旧住宅が混在する住宅街で、災害時の一時避難公園の真土公園が備わる。
- ②JR三河島駅前の南地区では、平成26年9月、駅前高層ビルの完成により、周辺景観・防災設備が整備されている。
- ③尾竹橋通りから入る東地区は、コリアンタウンの賑わい・身近な商店街が広がる地域で、商店街の奥は、住宅密集地帯が広がり、路地のある風景である。

### ・再開発への提案

- ①旧真土小学校を核とした、駅前緑地のせせらぎの里・常磐線沿いの緑道の再生。
- ②真土防災公園に、コミュニティ施設を設置し、日常的な活用を図る。



## ○西日暮里地域

### ・地域の特性

高低差のある地形で、諏訪台の歴史的資源と鉄道・道路や市街地開発とが共存する。

### ・景観(風景・資産)の現状

- ①諏訪台地区は、明暦の大火で移設された寺院など、江戸時代の風情を残し、「ひぐらしの里」とも呼ばれている。
- ②諏訪台中心地の諏方神社裏手には、震災時の一時避難所として、西日暮里公園がある。
- ③台地の下西側は、住宅と観光地化した商店街が有る。鉄道路線を挟み東側は、日暮里駅を核とする、高層ビルなど駅前再開発が成された地区で、その延長線上に、特質のある日暮里繊維街を有する。

### ・再開発への提案

- ①寺院緑地・墓地の通り抜け避難路としての活用と井戸の整備。
- ②芋坂も含め、鉄道を越える避難路の複数化と、景観に溶け込む避難路の表示。



## ○東日暮里地域

### ・地域の特性

新しい市街地と商店街や生活道路が調和する。

### ・景観(風景・資産)の現状



- ①大火による焼失地区(4丁目方向)は、区画整理により防災環境は改善。延焼から免れた地区(3丁目)は昭和初期の景観を残している。
- ②地域の中心にある、10間(17.5m)の尾竹橋通りは、大正14年の大火の際、西側地区への延焼を食い止めていた。
- ③過去の経験から、防災意識の高い地域で、町会毎の防災倉庫・貯水施設・消火器等が備えられている。

### ・再開発への提案

- ①避難路と分かるように、尾竹橋通りを色付き舗装し、防災並木を作る。
- ②初期消火並びに生活水確保に利用する為の防火用水蓋付きバケツの備え付。バケツは、町ぐるみの景観を意識した緑色に統一。

メンバー:小寺、居田、高橋、花上、多胡、秋元、米田、岸川  
ファシリテーター:瀧澤、神尾  
世話役:木村



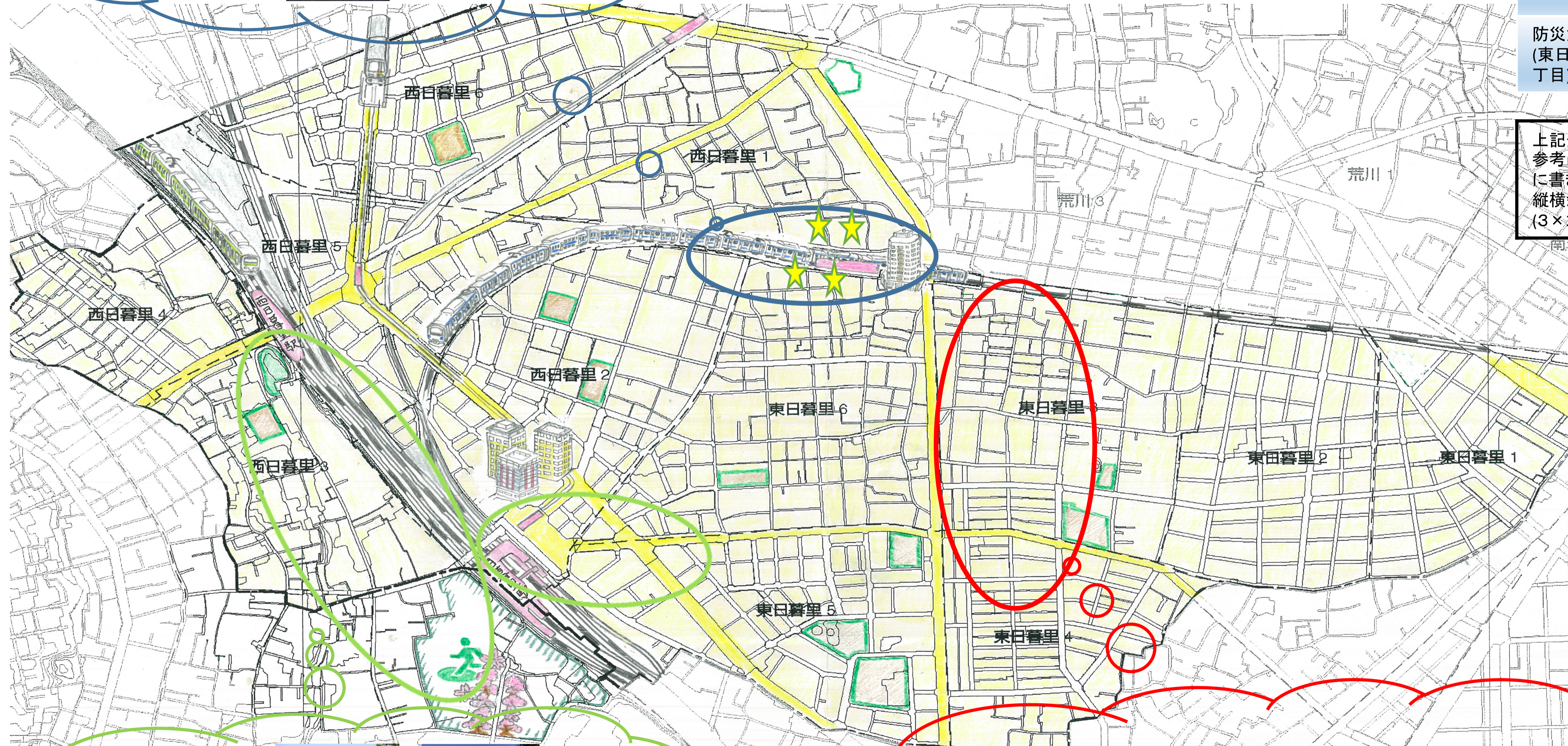
### 三河島周辺地域



## ★スタンプラリー防災

防災倉庫 (真土町会) ( )	避難施設 ( )	町内一時 避難所 防災広場 ( )
手押し ポンプ ( )	震災対策 区民水利 ( )	防災井戸手 押しポンプ ( )
防災倉庫 (東日暮里6 丁目) ( )	廃校 (真土小学 校) ( )	かまど ベンチ ( )

上記昇目の施設や備品を別紙回答書の地図を参考に現地を探して、その場所の番号を( )内に書き入れて下さい。  
縦横斜めの合計は同じになります。  
(3×3の魔法陣)



### 西日暮里地域



### 東日暮里地域

